

たくましく心温かな中洲の子



- ◆ 令和元10月31日(木)
- ◆ 諏訪市立中洲小学校

いよいよ明日！ お待ちしております！！



校長室にいますと、あっちからもこっちからも音楽会に向けての練習が聞こえてきます。練習が始まった頃は途切れ途切れだったり、途中で止まってまた最初からということも多かったのに、本番直前、明日のステージに向け自信をもって演奏している様子がよく伝わってきます。各クラスや学年のお便りで、ここまでの練習やその中での子ども達の成長の様子が紹介されています。そのお便りの中身も大事にさせていただきながら、明日の子ども達の演奏をお楽しみいただけたらと思います。お待ちしております♪

台風19号の被害に対して何かできることはないか、と児童会役員が募金を考えてくれました。音楽会終了後6年生が出口で募金箱を持っておりますのでご協力いただける方はお願いします。また、後日児童を通じて募金する機会もつくる予定ですので、当日出来ない方でご協力いただける方は、そちらでお願いします。

台風19号の被害に対する募金について

中洲小学校児童会では、台風19号の被害にあわれた方々に、同じ長野県民として何かできることを考え、支援募金を呼びかけることにしました。
少しでも力になれるよう、多くの方のご協力をお願いします。

* ♡ * ♡ * ♡ * ♡ * ♡ * ♡ *

10月26日(土)、諏訪市教育会館にて、県のPTA連合会・諏訪地区PTA連合会主催の【日だまり懇談会】が行われました。これは、おととしまで各地区のPTA代表が長野市に集まり研修会を開いていたものを、それではなかなか各地区に県の研修内容が伝わっていかないということで、各郡市を回って開催されるようになったものです。今年度は2回目で諏訪郡市が当番に当たり、中洲小からも、諏訪市P会長高井さん、諏訪市P子育て委員長有賀さん、副会長小泉さんの3名が参加され、半日研修を行いました。私は郡Pの理事をしている関係で参加しましたが、講評をする予定だった県の役員をしている校長先生が避難所になっている学校だったということで、急遽講評をやることになってしまいました。どんな研修をしたのかも分るような内容でまとめをさせていただきましたので、お読みいただけたらと思います。

【ひだまり懇談会講評】（参加した県下各地のPTA役員の皆さんへ話させていただいたことから）

お子さんにほっとできる居場所を

・・・子育てに夢中になっている時、「自分」とはなんだろう…などとは考えません。自分のよさを誰かに語る、なんて機会などもまずありません。家事に育児に自分の仕事！…と、毎日精一杯。思うように物事が進んでいかないといらいらして、つい必要以上に子どもを叱ってしまい、自己嫌悪に陥るという悪循環の日々。

このひだまり懇談会で皆さんに研修していただいたことは、そんな悪循環を抜け出し、ありのままの自分を受け入れ、物事を前向きに捉えたり、積極的に行動できたりするような状態にする、すなわち「自己肯定感を高める」、ということでした。自分自身を変えるというのは、なかなかできないことですから、まず自分のよさやもっとなりたい自分についてを付箋に書き出し、それをグループのメンバーに発表しながら語り合い、質問したりされたり、アドバイスし合ったりながらお互いに磨き合う、ということをしていただきました。今、懇談会が始まる前とはちょっと違う自分を感じていらっしやるのではないかと思います。

最初は遠慮がちであった初対面の方との対話が、だんだんに盛り上がり、夢中になって語り合い、聞き合い、共感し合い、認め合う中で、明日から、いや今日帰ってから、子どもにこんなふうに接してみたい、こんなふうに言ってあげたい…そんな具体的なイメージが、たくさん浮かんできたのではないかと思います。親に心のゆとりができる、子どもにかけられる言葉や接する態度が違ってきます。子どもはそういうほっとできる居場所の中で安心して成長し、「自分は大切な存在なんだ」と自己肯定感を高めていくことができます。自己肯定感が高まった子どもは、周りの人も大事にすることができます。いろいろなことに頑張れる子どもになります。そんなほっと出来る居場所をご家庭の中でぜひつくってあげていただきたいと思います。

日々仕事に忙しいと、子どもに申し分け無いという気持ちが出てきます。そういう気持ちになると、私もそうでしたが、つい子どもが自分でした方がいいことまで手を出してしまいます。結局子どものためにならなかったと後から分かるのですが、心にゆとりがないとなかなかうまくいきません。子どもの心に寄り添うけれども押しすぎず親としての信念を貫くこと。…大丈夫、きっと子どもは、親が思う以上に親のことをよく見ていて、忙しいことや大変なことも分かってくれています。

私達は、子どもが生まれてくれたおかげで親になれました。子育ては大変なことも多いわけですが、子どもと一緒に笑ったり泣いたり喜んだり悲しんだりしながら、子どもの心に寄り添い、子どもと一緒に成長していく親になりたいな、と思います。忙しい毎日ですが、ぜひご自分を大切に、子どものためはもちろんですが、自分のためにも子育てやPTA活動を楽しんでいただけたらと思います。…（後略）



学校への連絡についてのお願い

学校への欠席連絡等は、緊急の場合を除いては連絡帳を通じてお願いしています。朝、電話での連絡が多いと、日直始め職員が電話の対応に追われてしまいます。また、日中も担任への伝言（お子さんに〇〇と伝えてほしいなど）の連絡が来ることがありますが、中洲小は教室の電話に外線が繋がらないため、電話を受けた者がメモを書いて伝言したり、休み時間を見計らって伝えることとなります。事務職員の業務が立て込んだり、担任が教室にいない場合など連絡がうまくつかなくなったりすると、保護者の方にもご迷惑をかけてしまいます。特に午後の連絡は下校が近いので間違いのないように教室にすぐに連絡をされると、授業が中断してしまうことになります。緊急な場合を除き、予め分かっていることについては、ご家庭で確実にお子さんに伝えておいていただくよう、ご協力よろしく申し上げます。